

熊野前駅周辺地区バリアフリー基本構想
第3回策定協議会

議 事 要 旨

日時：平成26年2月3日（月）14:00～16:00

場所：サンパール荒川第7集会室（5階）

出席者：6頁参照

議事次第：

- 1 開会
- 2 パブリックコメントの報告
- 3 基本構想（案）の報告
- 4 その他

配布資料：

- ・次第
- ・資料
 - 資料1 パブリックコメント集計表
 - 資料2 基本構想案（冊子）
 - 資料3 基本構想概要版（案）
 - 資料4 基本構想説明資料
 - 資料5 第2回策定協議会議事録

【議事要旨】

1 開会

- ・事務局より挨拶、資料の確認
- ・藤井会長あいさつ

2 パブリックコメントの報告

- ・事務局より「資料1、2」を用いてパブリックコメントの報告

<福祉部>

- ・信号が集中制御とありましたが、障がい者福祉課の方へ区民の声で視覚障がい者の方が渡り切れる時間ではないという意見がありました。発信機で延長されるバリアフリー信号というオリンピック・パラリンピックで導入していくものがありました。
- ・実際、熊野前の交差点で怖くて渡りきれないという意見もありました。
- ・舎人ライナーは無人駅ということで、介助案内という仕方だが、早めに来ていただける工夫を考えていただきたい。

→<福祉部>

小型の発信機を持ってやるというものです。

→<事務局>

- ・ご意見としていただき、内容を調べさせていただき警察と話もさせていただきたい。
- ・舎人ライナーのところですが、無人駅ということもありますので、区としても声かけさせていただければと思いますが、事業者様からの回答があればと思いますのでよろしくお願い致します。

<委員>

- ・信号に関しては事務局としてはこの基本構想の案の中に記載事項、追加するということを考えているということですか。今日、一応最終ととらえておりますが、その辺はどう理解すればよろしいでしょうか。

→<藤井会長>

- ・信号制御は動き出していますが、適用できる場所とできない場所がある。オールマイティではない。記載の中で全体の方向性として、障害を持たれる方への支援が出来る信号機（音声信号含む）というものをバリア対応のしくみといったようなことを全体的に進めるということを盛り込んでも良いと思うが、具体的に交差点入れるというのは難しいと思う。担当の事業者とご検討頂いて、組み込める範囲の中で、基本的な方向性は組み込むということで理解ください。
- ・無人駅ということで駅の対応としては全体の仕組みの中で動いているということで、事業者と話しを伺い、表記として追加できるのもであれば、あるいは介助ということで組み込まれているところもある、または基本構想になくとも書き込みができることか協議して頂けると思う。

<委員>

- ・都電のホームのことですが、町屋の駅に手すりが付いたのですが、全部の駅につくのでしょうか。宮の前は広告が出っ張っていてホームが狭くなるのでどうなるのでしょうか。
- ・車イスで女子医大に行きましたが、最近は整形外科と耳鼻咽喉科以外は予約制になって、当日はだめで街の医者を紹介されたが、段差があるため、こちらで見てほしいということをお願いしたが取り合ってもらえなかった。心のバリアフリーも全然なくて、行くところがなくて、そういう時が度々あるがどこに相談したらいいのでしょうか。

→<事務局>

- ・一点目のホームの防護柵については、交通局で交通警備計画を作っており、順次整備していくという方向性で、昨年度町屋駅に造っていると聞いています。

→<委員>

- ・事務局から説明があったように経営計画の中で3か年計画で実施することが記載されています。できるところとできないところがあり、駅の構造上狭い駅があるため、付かないことがあります。担当部署、荒川区とも協議して順次設置して参りたいと思います。

→<会長>

- ・現状の出来る構造から進めていく。ただし抜本的には道路改良を含めた中で全体の幅員等検討したかたちでの取り組みの関係で難しい問題があることと思います。
- ・2点目についてはいかがですか。

→<事務局>

- ・障害者差別解消法が公布されて28年から施行となっていますが、民間については努力義務が課せられています。女子医大本体に関しても、そういったPRをさせていただければと思います。どこに相談するかについては区内で持ち帰らせていただきたい。

<委員>

- ・先ほど山形課長からバリアフリー信号の話がありましたが、視力障がい者の立場からあえて付け加えたいのは、バリアフリー信号を付けてもらえるのであれば、横断歩道のところにエスコートゾーンを付けてもらいたい。荒川区ではどこにあるか。敷設基準はどうなっているか

→<事務局>

- ・エスコートゾーンですが、都道の大きな交差点には敷設しています。熊野前交差点については舎人線と並行にエスコートゾーンが敷設されています。敷設基準は警視庁にあると聞いています。敷設については協議させていただき報告させていただきます。

→<会長>

- ・エスコートゾーンですが全国いろんなところでいろんなパターンの取組みがございまして、今、カラーの色の違いということがございまして、色を変えてやっているところ

もございますれば、同一舗装上の色で凹凸のみ付けているところ、あるいはエスコートゾーンを点描で繋げるものもあれば、それをライトと併せた形で繋げていくものなどいろいろな形があります。

- ・いろんな形がありますので、ロービジョンの方もみやすいライトで誘導するものが開発されています。区内でこういった形で作るのかを検討していくのが良いと思います。

<委員>

- ・前回の協議会の時にも話したが、バリアフリー協議会を次年度継続してほしいという要望を委員長預かりにしてもらいましたが、意見があったように協議会が出来るまでは携わった者が確認が出来ないということで、紙媒体でお知らせはあると思いますが、実感としてどう進んでいるか、反映されているのかという意見もありました。一年に1回でもいいので、我々から団体に発信していけばよいかと思いました。わかるような仕組みにさせていただいた方がよいかと思います。

→<事務局>

- ・今回の基本構想にも明示していますが、今後も過少ですが推進協議会を立ち上げて、基本構想について進捗状況の管理や整備後のモニタリングを続けていきたいと思っています。住民部会についても現地を確認することは大事だと思いますので、実行できているかを確認できるように考えています。

→<会長>

- ・基本構想をご了解いただいて話そうかと思いました。基本構想案として欠落しているものがあると思いません。基本構想を作ったからおしまいではない、どう示していくというのが大事だと思う。住民部会を一層支援していくというのを示したのが一歩進んだと思う。P D C Aサイクルにどうのせるのか、継続的な改善とありますが、自分たちでできることを汗かきながらやっていこうというのは進むのですが、アクションやプランの部分に当事者の意見があがっていくのか、というのが明確に示されていません。この段階で示すべきものでもないのですが、計画の中に住民部会の意見を組み込むかを次のステップでしっかり持っていただきたい。協議会になると、モニタリングや開示は出てくるが、進捗管理は各事業者という形で、事業が動いているかの確認になっている。住民部会の声が直結しているかわかりにくい。継続的に検討するというスタンスは盛り込まれていますので、基本構想自体は全体の枠組みを決めるところですので、実施計画という具体的な計画に落とすまでに調査や設計がありますが、その中に住民の声を聴くのがどこに出ているのか。基本構想、事業化に当たって当事者をいかに組み込むのかを事務局ではご検討いただきたい。全体枠を決めましたので、P D C Aということで当事者が提言できることが、継続という意味でとらえていただきたいと思う。区民のこころのバリアフリーを連携して取り組む仕組みを事務局は次のプロセスで明らかに示してほしい。是非、そういった面では、今回の出席の委員の皆様もご理解いただきたいと思います。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。追記できる分は事務局で精査していた

だきたいと思います。私も確認し案に組み込みたいと思います。会長・副会長一任ということでよろしいでしょうか。

<委員>はい。

<会長>責任持って対応したいと思います。次のその他にうつります。

<事務局>

それでは約一時間でございますが、基本構想案をご承認いただきましたので本日の協議会を終了したいと思います。

<会長>

4 その他

- ・事務局より今後の日程について連絡（2月下旬議会後へ報告）
- ・議会の専門の委員会の方へ報告後、区報やホームページ等にて基本構想については公表したい。
- ・協議会の議事等の内容をホームページ上で公表するに当たりましては、委員のお名前の方も合わせて掲載させて頂きますので、その点についてご了承ください。
- ・本日のご意見を反映させるようにこれから関係の事業者様と調整させていただいて、基本構想をまとめて参りたいと思います

以 上

熊野前駅周辺地区バリアフリー基本構想

第3回策定協議会 出欠状況一覧

委員名簿			出欠	
学識経験者		日本大学 理工学部 交通システム工学科 教授	藤 井 敬 宏	○
		首都大学東京 健康福祉学部 作業療法学科 准教授	橋 本 美 芽	○
		首都大学東京 健康福祉学部 作業療法学科 助教	石 橋 裕	○
区民代表		荒川区身体障害者更生会 会長	後 藤 英 一	○
		荒川区聴覚障害者協会 会長	大 石 泰 延	代
		荒川区視力障害者福祉協会 会長	野 田 和 義	○
		荒川のぞみの会 会長	大 沼 弘 子	○
		NPO 法人 荒川区高齢者クラブ連合会 副理事長	長谷川 敏 男	○
		尾久東部町会連合会 会長	関 根 要 一	欠
		尾久西部町会連合会 会長	斉 賀 靖 佳	欠
		荒川区子育て支援モニター	佐々木 絵 里	欠
		荒川やさしい街づくりの会 代表	後 藤 俊 子	○
		当事者相談員 ピアカウンセラー	高 見 和 幸	○
関係行政機関	国	国土交通省 関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長	池 田 敏 之	代
	東京都	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課長	池 内 光 介	代
交通事業者	鉄道	東京都 交通局 建設工務部 計画改良課長	谷 内 雅 之	代
	バス	東京都 交通局 自動車部 事業改善担当課長	眞 子 武 久	代
		京成バス(株) 営業部 乗合営業課長	坂 本 幸 裕	代
施設管理者 道路・公園等	東京都	東京都 建設局 第六建設事務所 補修課長	上 本 竜太郎	代
	荒川区	防災都市づくり部 施設管理課長	大 木 浩	○
		防災都市づくり部 道路公園課長	川 原 宏 一	代
交通管理者	警視庁	尾久警察署 交通課長	渡 辺 誠	○

委員名簿			出欠	
執行機関	荒川区	総務企画部長	北 川 嘉 昭	欠
		福祉部長	谷 嶋 弘	代
		防災都市づくり部長	斉 藤 秀 喜	○
		防災都市づくり部参事 都市計画課長事務取扱	松 土 民 雄	代
事務局	荒川区	防災都市づくり部 交通対策課長	平 野 興 一	○
		防災都市づくり部 交通対策課 交通計画係長	白 井 巧	○
		防災都市づくり部 交通対策課 交通計画係	長 野 博 一	○
		防災都市づくり部 交通対策課 交通計画係	柳 沢 泰 隆	○